

はつきり話し、しっかり学ぶ速見っ子（知）

やさしさあふれる速見っ子（徳）

みんな元気な速見っ子（体）

児童数 393 名



速見小通信

門真市立速見小学校 発行者 杉井 信夫
令和6年5月24日 第 3 号



「傾聴ボランティア」のお話

児童集会で「傾聴ボランティアグループ 心の耳会」の方々から、「聞く」と「聴く」の違いのお話をいただきました。

「聞く」というのは「後ろから話し声が聞こえてくる」というように、どちらかというとながら音が聞こえてくるような時に使います。一方で「聴く」は、みなさんが先生の話をお聴きしている時の様に、集中してしっかりと聴くときに使います。そして、「傾聴」というのは相手の話を、相手の立場に立って、相手の気持ちに共感し、理解しようとしながら聴くことです。

「傾聴ボランティア」は、話を聴いてほしい人の話を丁寧に、熱心に聴くボランティア活動をしてもらえます。話を聴いてほしい人の中には高齢の人や病気を治療中の人もいて、ただ話をして楽しただけでなく、心が軽くなったり、気持ちの整理ができるなどの効果があるそうです。



クラスでは友達が発表する時にも、同じような事が起こっています。皆さんは発表しようとしている友達に耳と目と心を真っ直ぐに向けて、反応しながら話を聴いていると思います。友達が発表に困っている様子を感じたときは、「がんばれ」の思いを目にこめましょう。発表内容がよくわかり、納得した時はそのことがちゃんと伝わるように大きくうなずきましょう。「聴いているよ、よくわかったよ」という「気持ち」が目に見える形で相手に伝わり、それが「次も発表しよう。」という友達の自信になっていきます。

児童集会が終わった後、傾聴ボランティアの方々とは校長室でお話をしました。「速見小学校の子どもたちは聴くのがすごく上手ですね。」と皆さんのことをたくさん褒めておられ、校長先生はともうれしく思いました。

地区児童会 5月15日

5月に暴風警報や地震が発生したときの対応についてのお手紙を配付しました。（学校HPにも掲載しています。）そこに記載しているとおり、暴風警報発令などの緊急時に急きょ集団下校をする場合があります。

地区児童会は、班長が1年生の教室まで迎えに行き、各地区の教室で担当の先生と普段の登下校の注意点を確認した後、集団下校に備えた訓練をしています。

また、大きな地震が起こった時や、校区で事件が起こった時など、子どもだけで下校するのが危険な時には、お家の方に迎えに来ていただいて下校します。その際には提出していただいている「引き渡しカード」を使用します。

6月1日の土曜参観では、4時間目の避難訓練で児童が運動場に集合し、「引き渡しカード」の通りに保護者に引き渡し訓練を行います。（雨天時は教室で引き渡しをします。）

◆急に暑くなりました

熱中症対策：水筒を持参し、こまめに水分補給をしよう！

（保護者の方へのお願い）

- 十分な量のお茶を持たせてください。
- 外出時は日光から身を守る帽子を着用させてください。冷感タオルの活用も可能です。
- 暑さで息苦しいときはマスクを外すよう、自分の判断で対応できるように家庭でもお話しして下さい。



第1回学校運営協議会（コミュニティ・スクール） 5月8日

会長	新谷 龍太郎（同志社女子大学准教授）	学校参加者
副会長	邨橋 雅広（たちばな幼稚園園長）	杉井 信夫（校長）
	表口 喜嗣（校区自治連合会会長）	山崎 裕子（教頭）
	田井 珠美（青少年指導員）	宇田 麻衣子（首席）
	濱岡 三和（PTA会長）	永峰 康弘（生徒指導）
	西井 知永（地域学校協働活動推進委員）	安達 亜弓（学力）
		栗子 直毅（探究）

学校から昨年度の評価結果と今年度の学校運営方針を説明しました。その後、グループに分かれて協議をし、意見をいただきました。今年度も子どもの成長のために地域と一緒に取り組みます。

協議内容・意見（抜粋）

●今年度の学校目標について、知りたいこと・かかわれそうなこと（「子ども主体の学び」「探究的な学び」に関して）

- ・いろいろなペースの子どもがいる中でどのように子ども主体の授業を作っていくのか。→ 自由進度学習や探究的な学習で、子どもが自分に合った学び方を選択できる機会を増やしていく。そろえる教育からのばす教育への転換を図る。
- ・ドイツの学校に入った日本の子どもは、先生がやり方を教えてくれず、自分で考えなさいと言われるのでとても苦勞をする。日本の教育と違い、もっと主体的な学びが重視されている。→ 学びは自分で動かないと自分のものにならない。教師は先の見通しをもって子どもに関わる。
- ・子ども主体の授業が増えてくれば、授業参観がもっと保護者も巻き込んでいく授業になっても良い。保護者は授業中の子どもの安全面にかかわることも可能。→ 保護者は参観で出番があるとは思っていない。急に言われても参加しにくいので、あらかじめ保護者が授業でなにをするかわかっていれば参加しやすい。
- ・昨年3年生で実施した地域の消防団の話など、今求められている授業に合った協力の仕方を考えていきたい。
- ・アトリアガーデンなど子どもが学んだことを発表できる場がある。→ 人を集めるところに協力できないか。
- ・保護者の授業に対するイメージが、今学校が言っている理想的な教育について行っておらず、理解してもらにくいのではないかと。→ 授業や自由研究の進め方が保護者にも分かれば、子どもが家で学習を進める時に一緒に関わることができる。問題の答えを出すことが目指す教育ではないことを保護者に理解してもらうことが重要。
- ・自由進度学習を教師も子どもも勉強中。そこに保護者も関わってほしい。
- ・教員だけで進めるのはあまりに負担が大きいのではないかと。学校と地域、行政が一体化していかないと理想の教育にするのは難しい。できることは協力したい。
- ・子どもの主体性を育てる教育をめざすのは絶対に必要なこと。自分が友達に教える場面が一番の学びになる。そのための時間をしっかり取れることと、子どもが自分から行動するのを待つことができる教員の姿勢が大切。



◆お願い 「tetoru」の通知設定は「オン」にして下さい

学校からの連絡を見逃さないように、通知設定を「オン」にして下さい。今後、学校からのお手紙は電子化して「tetoru」で配付していく予定です。ご理解とご協力をお願いいたします。

◆◆ 6月の主な行事予定 ◆◆

1日(土)	土曜参観 緊急時引き渡し訓練
3日(月)	代休
5日(水)	クラブ 児童集会
7日(金)	歯科検診（2・4年）
10日(月)	諸費引落
14日(金)	歯科検診（3・6年）
17日(月)	三中校区小中一貫授業見学（教員研修）
19日(水)	クラブ
20日(木)	尿検査二次もれ
21日(金)	歯科検診（1・5年）
24日(月)	プール開き
26日(水)	委員会



6月校庭開放
8日(土) PM
15日(土) PM
22日(土) 全日
29日(土) PM